

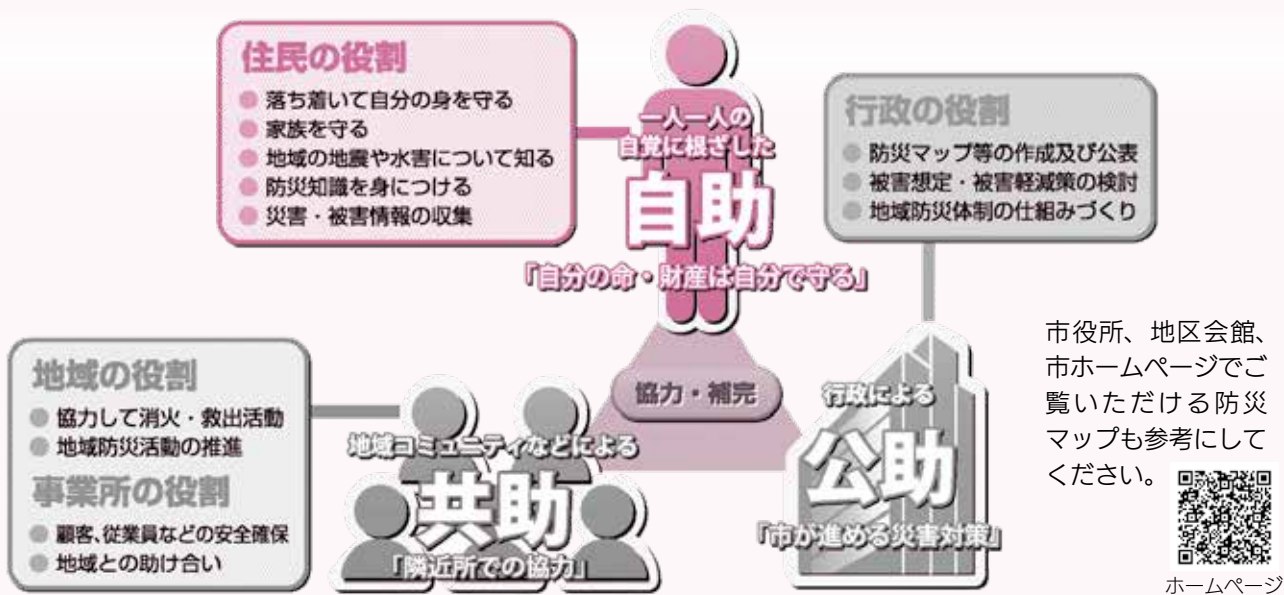
防災マップの使い方 ~9月1日(水)は防災の日~

固危機管理課 ☎(582)1119 ㊚(583)5066

9月1日(水)は大正12年に関東大震災が発生した日です。台風^{にひくとおか}の来襲が多いとされる雑節の「二百十日」にあたり、戦後最大の台風被害となった伊勢湾台風を契機に「災害の備えを怠らないように」という意味で「防災の日」が創設されました。皆さまも、この日を「防災」について考えるきっかけにしてください。

ポイント1 (自助・共助・公助の役割と連携をシミュレーションする)

東 日本大震災など過去の災害の教訓から、住民の皆さまの生命を守る局面で最も大きな力を持っているのは、住民の皆さま自身にあることは明らかになっています。災害による被害を少しでも軽減するために、自助・共助・公助の連携が必要です。



ポイント2 (避難所マップで避難場所や避難経路をシミュレーションする)

令和元年台風第19号(令和元年東日本台風)では、国や県が管理する河川142カ所が決壊するなど、同時多発的かつ広範囲に甚大な被害が発生しました。

この豪雨では、避難をしなかった、避難が遅れたことによる被災が見られました。

いざというときに、どこに避難すればよいか、どこが安全なのかを知っておくことは非常に大切です。

18・19頁に避難所マップを掲載していますので、近くの避難所などをぜひご確認ください。



令和元年台風第19号の豪雨被害 (長野県千曲川堤防決壊)